

岡山市介護ロボット普及推進事業 結果概要

令和3年3月

目次

事業概要	3
対象の介護ロボット・貸し出し実績【機器貸し出し・調査】	4
事業所としての機器導入効果【機器貸し出し・調査】	5
要介護者に対する機器導入効果【機器貸し出し・調査】	6
機器ごとの事業効果【機器貸し出し・調査】	7

事業概要

■ 機器貸し出し・調査

目的	<ul style="list-style-type: none">■ 介護ロボットのうち、介護事業所の職員の負担軽減及び要介護者等に対する見守り、日常動作補助、精神的ケア等に資する7機種を市が選定（☞詳細は次ページ参照）■ 市が委託した介護ロボット製造事業者等から介護事業所に3か月間無償で貸し出し■ 介護ロボットの利用を促進＋利用効果等を調査
実施期間	<ul style="list-style-type: none">■ 前期：令和2年7月～9月／後期：令和2年11月～令和3年1月の2回設定■ 事前：機器導入前1週間／事後：機器導入後3か月の最終週1週間の2フェーズに分けて調査を実施
対象事業所	<ul style="list-style-type: none">■ 介護保険法に規定する全ての介護サービスを提供する事業所【令和2年度から施設にも対象拡大】■ 合計38事業所を採択（☞詳細は次ページ参照）
事業の流れ	<ul style="list-style-type: none">■ 事業の準備：事業所における事業責任者の選定→事業に関わる職員に対する説明、機器導入・定着にかかる講習会等の実施→対象機器を導入し効果を検証する要介護者の選定→要介護者への説明・依頼・同意書の取得→機器の導入■ 事業の実施：機器の利用→調査票の記入■ 調査票の提出

■ 介護ロボット研修会

目的	■ 介護保険サービス施設・事業所職員を対象とした介護ロボットに関する情報提供、導入促進
日時	■ 令和2年9月14日（月）～10月13日（火）
方法	■ 市のホームページを通じて、WEB動画配信
プログラム	■ 講演「介護現場における介護ロボットとの関わり方について」 社会福祉法人友愛十字会 特別養護老人ホーム砧ホーム 施設長 鈴木 健太 氏
視聴者数	■ 312人

対象の介護ロボット・貸し出し実績 【機器貸し出し・調査】

図 貸し出し対象の介護ロボット

- ロボット技術(情報を感知し、判断し、動作する、という3つの要素技術を有する、知能化した機械システム)を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器

<p>見守り</p> <p>iAide2 装着型機器が体調変化をすばやくキャッチ</p> <p>「アイエイド2」は腕時計型の機器で、装着することで脈拍数・体温・歩数を24時間連続で計測し、オンラインで複数利用者のデータをモニタリングすることができる見守りシステムです。脈拍の異常値を検知し、見守りに対してアラートを発信したり、手動SOSコールにより利用者から体調の異常を発信することもできます。</p>  <p>機器取扱い 岡トーカー</p>	<p>見守り</p> <p>見守りライフ 利用者の状態を一元管理、見守り負担を軽減</p> <p>「見守りライフ」は、既存のベッド脚に取り付けるだけで導入できる見守りセンサーです。ベッド上の「動き出し」「起き上がり」「端座り」を検知・通知可能なため、利用者の転倒・転落リスクを軽減します。また、施設利用者のベッドの状態を同時に見守る事が可能なため、スタッフが対応の優先順位を把握しやすくなり、必要な時に必要な介護や介護を提供する事ができます。</p>  <p>機器取扱い トーテックアアメティア㈱</p>	<p>コミュニケーション</p> <p>palro レクリエーション充実で事業所を明るく</p> <p>「PALRO」は、歌・体操・ダンス・クイズなどを行ったり、施設利用者の顔を見つけて話しかけたりして、行動の促しをサポートすることで、QOLの向上が期待できます。また、プリセットされた年間プログラムによってレクリエーションの司会進行をしてくれるので、職員の手間・内容検討の業務負担の軽減につながります。</p>  <p>機器取扱い ㈱エネルギー・コミュニケーションズ</p>
<p>コミュニケーション</p> <p>PARO パロとのふれあいでみんな笑顔に</p> <p>「メンタルコミットロボット パロ」は、本物の動物と同じように人と触れ合うことで、人に寄りかかるといった精神的な働きかけを行うことを目的としたアザラシ型のコミュニケーション・ロボットです。パロとの触れ合いが、人の気分を向上させ、不安・うつ・痛み・孤独感などを改善させ、さらには介護者の負担感を軽減させることも期待できます。</p>  <p>機器取扱い 大和リース㈱</p>	<p>移乗支援</p> <p>HAL® 介護支援用(腰タイプ) スタッフの腰痛のお悩み解消に</p> <p>「HAL®介護支援用(腰タイプ)」は、移乗介助や体位変換、おむつ交換などの介護動作における前屈・中腰姿勢の維持や体幹を起こす動作を補助し、腰部にかかる負担を軽減することで、腰痛を引き起こすリスクを減らします。</p>  <p>機器取扱い ㈱エネルギー・コミュニケーションズ</p>	<p>リハビリ支援</p> <p>POWER ASSIST GLOVE EX 手指のリハビリ訓練の新しいカタチ</p> <p>「パワーアシストグローブEX」は、手指の可動領域を確保することを目的として、屈伸運動を繰り返して行えるリハビリ支援装置です。コントロールローラーとグローブで構成され、コントロールローラーに搭載したコンプレッサーが自動で圧縮空気を作り、グローブに内蔵したチューブ型の人筋肉を動かして指の屈曲・伸展サポートを行います。</p>  <p>機器取扱い タイヤ工業㈱</p>

表 介護ロボット貸し出し実績

サービス種別	事業所数	機器別の台数内訳(台)						
		アイエイド	見守りライフ	PALRO	パロ	HAL	パワーアシストグローブEX	
在宅系	デイ	8	0	0	4	3	1	1
	通りハ	3	7	0	1	1	2	0
	小多機	3	0	0	0	3	0	0
	ショート	2	0	4	0	0	0	0
	認知症通所	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	0	0	0	0	0	0	0
	療養ショート	0	0	0	0	0	0	0
施設系	特養	11	5	8	3	5	2	0
	老健	2	0	8	0	0	0	0
	特定	2	0	0	1	4	0	0
	有料	3	2	11	1	0	0	0
	医療院	1	0	0	0	1	0	0
	養護	1	0	0	0	2	1	0
	GH	2	0	2	0	1	0	0
貸出合計	38	14	33	10	20	6	1	
募集台数	—	192	200	10	50	6	36	

出所)岡山市「介護ロボット普及推進事業」のご案内チラシ

事業所としての機器導入効果【機器貸し出し・調査】

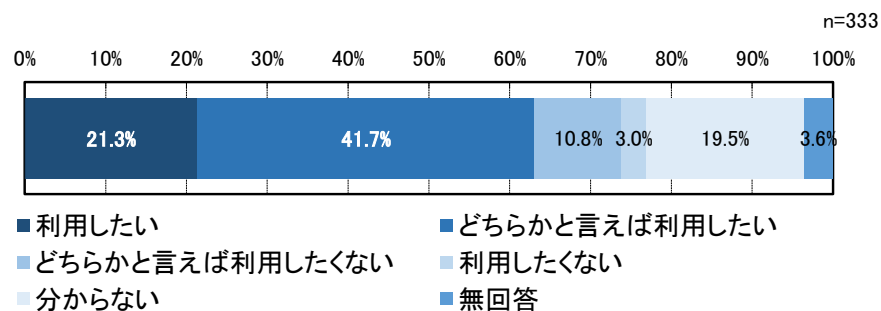
職員の業務負担・やりがいの変化

- 導入前に比べると**全般にプラスの変化**あり
- 特に、**心理的負担の軽減、職場の活気に効果大**



職員の介護ロボット全般の今後の利用意向

- 事業終了時(事後):「利用したい」「どちらかと言えば利用したい」を合わせ、**利用に前向きな割合が過半数(63%)**



事業所としてのプラスの感想(自由記述)

- **利用者の笑顔**が増え雰囲気が穏やかになった
- 利用者が精神的に安定し**不穏が軽減**した
- 利用者の**リハビリ等への取り組み意欲**が向上した
- **利用者**と**職員**の**コミュニケーション**が増えた
- 職員の**業務負担が軽減**し**他業務に時間**がさけるようになった
- 機器導入・定着について**話し合うこと**で**職場が活性化**した

事業所としてのマイナスの感想(自由記述)

- 機器の操作や管理・準備・後片付け、利用者の見守りでかえって**業務が増えた**
- **破損リスク**や**安全面、衛生面の心配**があった
- **利用者が飽きて**しまい**継続利用**ができなかった
- 事業終了後も**利用するには費用負担**が大きい

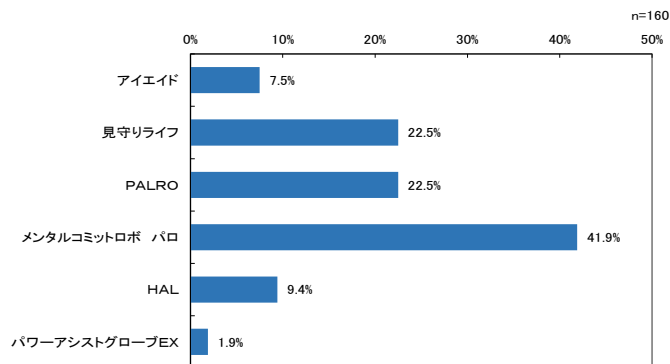
今後に向けた示唆

- **事業所に求められること**
 - ✓ 機器導入目的の明確化
 - ✓ 目的に合致した要介護者の選定
 - ✓ 管理職から現場職員までが意識を統一、組織的に継続的な取り組み
 - ✓ 導入後により効果的・効率的な活用方法を知るためのフォロー
 - ✓ 実際に機器を利用した職員同士での情報共有
- **行政に求められること**
 - ✓ 機器導入の費用助成やリース・レンタル制度の構築を主導
 - ✓ 本事業における貸し出し対象や台数、期間の見直し
 - ✓ 事業所間での機器導入に関する工夫を共有する場の設定

要介護者に対する機器導入効果【機器貸し出し・調査】

導入した機器

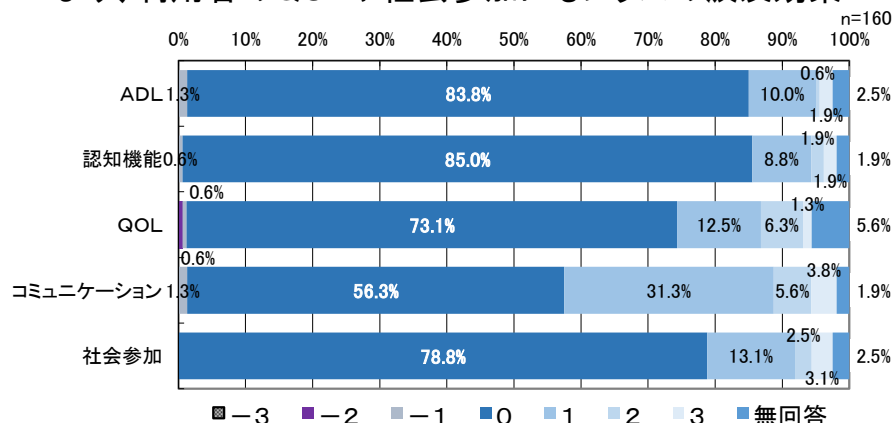
- 本事業で機器導入した要介護者160人のうち、パロを利用したのが41.9%、見守りライフ、PALRO利用が各22.5%



機器導入による要介護者の変化

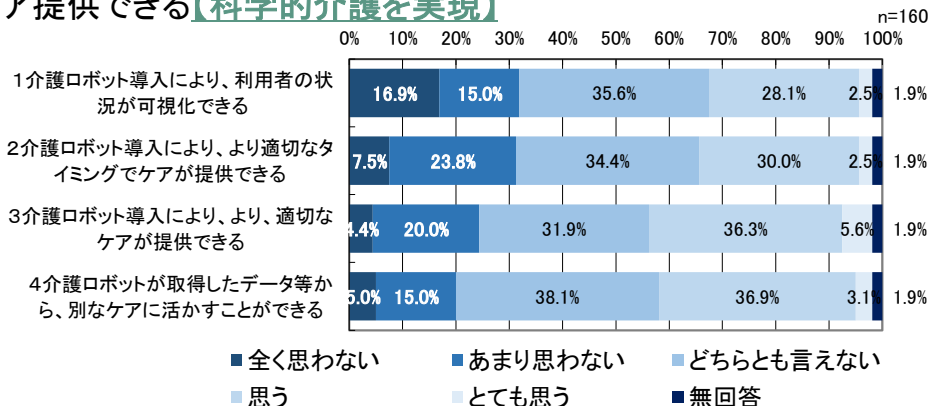
- 要介護者の8割が80歳以上で、事業期間の3か月間、心身状況維持できたことは一定の成果
- コミュニケーション40.7%、QOL20.1%、社会参加18.7%でプラスの変化

→時間をかけたアセスメント、効果的な利用のための声かけにより、利用者のQOLや社会参加にもプラスの波及効果



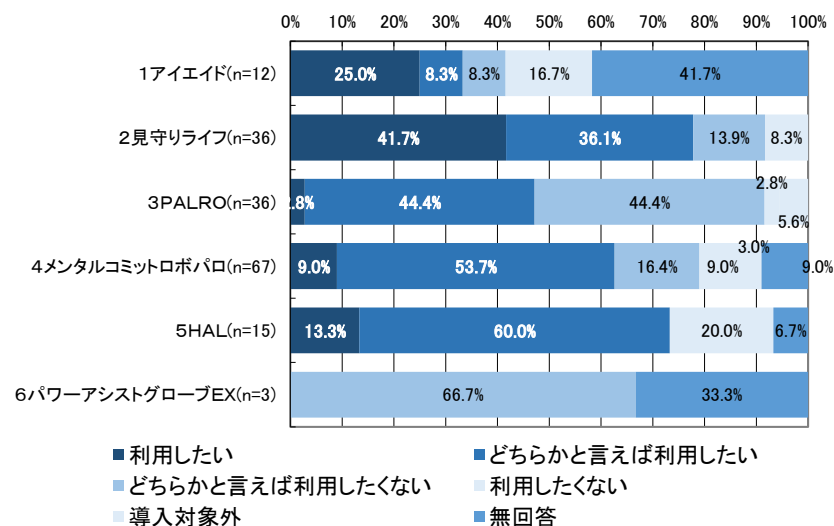
機器導入によるケア内容の変化

- 機器導入により利用者の状況を可視化し、適切なタイミングでケア提供できる【科学的介護を実現】



対象要介護者への今後の介護ロボットの利用意向

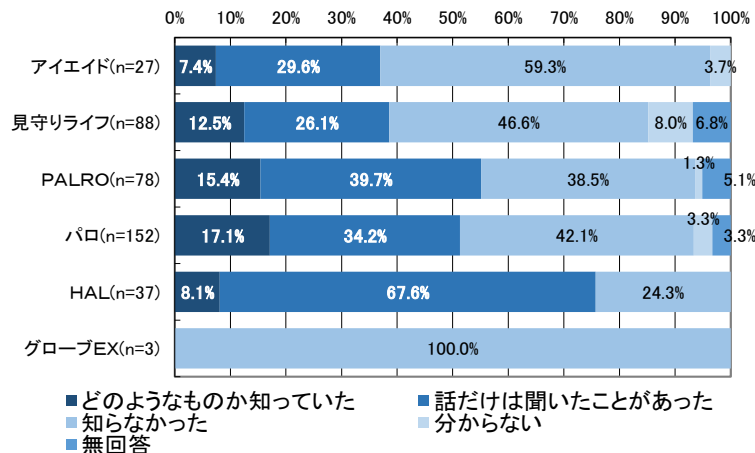
- 本事業で機器導入した要介護者に対して、今後も機器を利用することについて、見守りライフ、HAL、パロは半数以上が前向き



機器ごとの事業効果【機器貸し出し・調査】

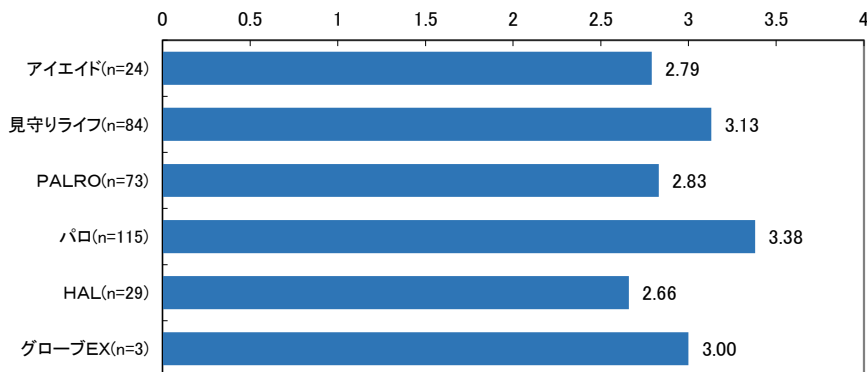
機器の認知度向上

- 「どのようなものか知っていた」割合は2割以下
→機器の概要、特長を実際に使用して知ることができた意義は大きい



機器の満足度

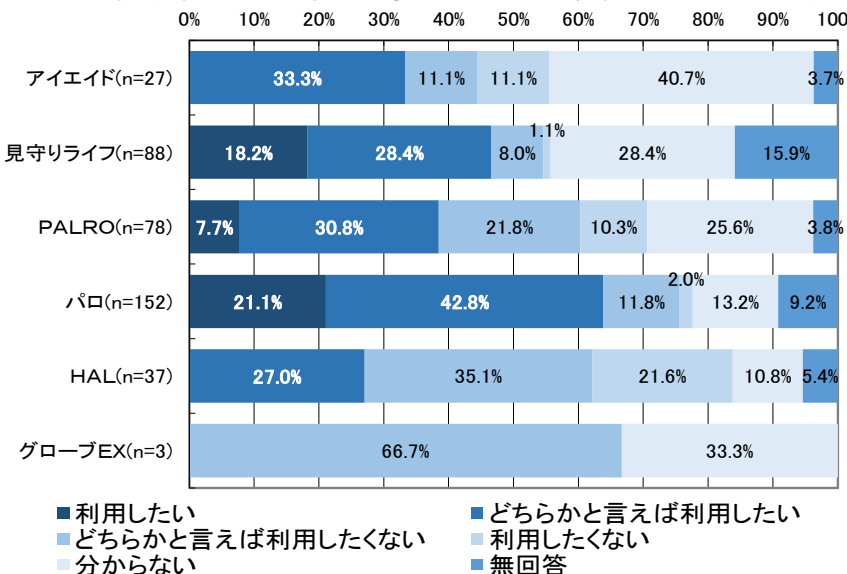
- パロ、見守りライフ、グローブEX、PALRO、アイエイド、HALの順に満足度が高い



※QUEST福祉用具満足度評価の得点(5点満点)

機器の今後の利用意向

- 職員の今後の利用意向が高い機器は、パロ、見守りライフ、PALRO、アイエイドの順である
- 本事業における適用に合った要介護者への利用は前向きでも、利用者全体、事業所全体に導入するには更なる工夫が必要



■ データを見る際の留意点

- ✓ 導入までの準備期間が短期&3か月の限定的な貸し出しで、事業所が機器の効果を実感するに至らなかった可能性あり
- ✓ この満足度や利用意向がそのまま機器の効果に直結するものではないことに留意
- ✓ 貸し出し台数が少ない機器は回答数が少ないため、機器間比較の際に留意が必要

■ 次年度以降の事業成果を高めるために精査すべき点

- ✓ 対象機器の選定
- ✓ 貸し出し台数や事業期間の設定
- ✓ 導入・定着に当たっての事業所の体制整備

